

# 神海丸通信

最終号

～経験を重ねて～

No.9



1月16日

最初は魚に見とれてばかりいた実習生達が、気が付けば周りを見て考えて行動できるようになっていました。この航海実習では「自己管理」という目標から始まり、「周りを見て考える!」「誰も見ていないところでどう行動するか」など段階的に目標を変化させていきました。その結果、指示されなくても自分で考え行動できる実習生へと成長しました。この力は今後の生活にも十分に活かされるものだと思います。また、「船」「仕事」「働く」ということについても大きな変化があり進路選択に役立てられたようでした。普段の何気ない生活に幸せを感じる者や親の苦勞を感じる実習生も沢山いました。この実習で多くのことに気が付き、学びました。

まもなく、航海も終わり迎えようとしています。1月10日に神海丸乗船し、約2ヶ月が経ちました。生徒達はどのように成長したのでしょうか?乗船前にそれぞれが目標を決めていました。その目標は「元気で帰る」「船酔いしない」「最後までやりきる」「迷惑をかけない」「気持ちの面で成長する」「仕事ができるようになる」などさまざまで、初めての長期航海に挑む覚悟を決めていました。

1月18日 出港式



1月28日 操業事前説明会



航海中や操業後の実習生、それぞれの思いや感想を紹介します。

乗船初期:「弱音を吐かず、一生懸命取り組みたい」「積極的にになりたい」「自分の成長に繋がりたい」「やることやってクラスで成長したい」「親の大切さや学校が楽しかった」「乗船していろんな人に支えられて生きていると感じた」「少しでも立派になって浜田に帰りたい」「5分前行動がキツイ」 など

操業前:「ミスしないよう頑張る」「絶対遅刻しない」「やる時はやる!」「ポジティブにいく」「自分のできることを精一杯やりたい」「迷惑を掛けないように頑張りたい」「メリハリのある行動をしたい」「どう動けばいいか考えたい」「意識してできるじゃなくて、意識しなくてもできるようになりたい」 など